

もう10年、まだ10年

東日本大震災復興支援定期「サポートV」報告会

～ 10年間の支援の意義とこれからの東北・災害支援を考える～

第一部 「サポートV」による支援先からの活動報告



一般財団法人 あしなが育英会
東北レインボーハウス 所長
心のケア部長
西田 正弘さん



一般財団法人 あしなが育英会
東北レインボーハウス
子どものプログラム担当
山下 高文さん



NPO 法人 奏海の杜
代表理事 太齋 京子さん
(宮城県)



NPO 法人 コーヒータイム
理事長 橋本 由利子さん
(福島県)

第二部 クロストーク

「10年間の支援を振り返り、
これからの東北・災害支援を
考える」

西田 正弘さん 東北レインボーハウス 所長・心のケア部長
八幡 隆司さん 認定NPO法人 ゆめ風基金 事務局長
八尾 高伸さん 近畿労働金庫 地域共生推進室長

共催：認定NPO法人ゆめ風基金
一般財団法人あしなが育英会
近畿労働金庫

2021年

10月23日(土)

13:30～15:40

オンライン(Web)開催

■オンライン開催について

当日は、「YouTube」での配信となります。お申込みいただいた方に、当日の視聴URLをご連絡します。

写真：2011年3月被災直後の山田町
【提供 被災地障害者センターいわて】

お申込み
お問合せ

認定NPO法人ゆめ風基金

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-13-43-106
TEL 06-6324-7702 FAX 06-6321-5662
Email: info@yumekazek.com



はたらくあなたへ、笑顔を届けに
近畿ろうきん

もう10年、まだ10年

東日本大震災復興支援定期「サポートV」報告会

～10年間の支援の意義とこれからの東北・災害支援を考える～

「サポートV」とは

東日本大震災以降、2011年6月から2012年3月まで取り組んだ東日本大震災復興支援定期「サポートV」は、被災地の震災遺児支援を行っている「あしなが育英会」と被災障がい者の支援を行っている「ゆめ風基金」へ、当金庫から10年間にわたって寄付を行う社会貢献預金です。161億円のご預金を結集いただき、10年間の寄付総額は、1億5,580万円となりました。

「サポートV」の支援先



陸前高田レインボーハウス(あしなが育英会)



奏海の杜：交ゆう館かなみ(ゆめ風基金)

報告者のプロフィール

一般財団法人 あしなが育英会 西田 正弘(にしだ まさひろ)さん
12歳のとき交通事故で父親を亡くす。あしなが育英会の奨学金を利用して進学、國學院大学文学部卒業。2006年から「あしながレインボーハウス」チーフディレクターを務め、病気や事故、自死、犯罪被害などで親と死別した小中学生と保護者のグリーフ・サポートに取り組む。2015年から東北レインボーハウス所長を務め、2019年度より現職。

一般財団法人 あしなが育英会 山下 高文(やました たかふみ)さん
17歳のときにガンで父親を亡くす。あしなが育英会の奨学金を利用して進学、東北福祉大学卒業。2009年よりボランティアとしてグリーフサポートプログラムに関わり、東日本大震災以降も継続して死別を経験した子どもたちと関わる。2012年にあしなが育英会に入局。現在は主に岩手県を担当エリアとしつつ、東北全体の子どものプログラムに関わる。

NPO法人奏海の杜 太齋 京子(ださい きょうこ)さん

大学では民俗学を専攻し、大手損害保険会社に入社。2000年に宮城県南三陸町へ移住し、子育てのかたわらフリーライターとして活動した。中学校の教員補助として支援学級に関わっていた縁で、震災後は被災地障害者センターで被災障害者の支援にあたる。2021年6月、宮城県登米市に障害児者と地域の交流拠点“交ゆう館かなみ”を開設した。

NPO法人コーヒータイトム 橋本 由利子(はしもと ゆりこ)さん

「精神福祉ボランティア養成講座」を経て1997年から相双地区の作業所のボランティアを始める。2006年浪江町に小規模作業所コーヒータイトムをボランティア仲間と一緒に立ち上げる。2008年NPO法人を取得し理事長に就任する。2011年3月東日本大震災と原発事故により、浪江町より全員が避難となるが、同年10月二本松市で事業を再開する。

認定NPO法人 ゆめ風基金

1995年、被災障害者の救援を目的に永六輔さん、小室等さんら著名人と障害者、支援者が呼びかけて発足。これまで被災障害者救済金・救援活動費は5億6300万円にのぼります。東日本大震災では、いち早く障害者救援活動を開始、今も障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。「一番困っているところにすばやく届ける」ことをモットーに全国の障害者団体と連携し、緊急時に備えています。また、障害者の立場から「防災提言」を発信しています。

一般財団法人 あしなが育英会

病気や災害、自死(自殺)などで親を亡くした子どもたちや、親が重度障がい働けない家庭の子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体です。奨学金による進学支援を行うと同時に、20年以上にわたって遺児たちの心のケア活動を継続しています。国などからの補助金・助成金は受けず、すべて寄付金で運営しています。ご寄付の9割以上は個人の方「あしながさん」からです。あしなが育英会は、親を亡くしたすべての子どもたちを支えたい、を目標に遺児支援活動を続けています。

近畿ろうきん(近畿労働金庫)

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などの働く仲間がお互いに助け合うために、資金を出し合っただけでなく協同組織の福祉金融機関です。非営利を原則として、働く人たちの暮らしを支え合い、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的としています。近畿ろうきんは、地域との共生活動(NPO・社会福祉法人への融資、地域の非営利・協同セクターとの協働など)を通して、地域の福祉を支えるグッドマナーの循環をめざしています。

《お申込み方法》

- ①お申込みは「お名前」「ご所属」「連絡先メールアドレス」「連絡先電話番号」をゆめ風基金へメール(info@yumekazek.com)、またはFAX(06-6321-5662)でお知らせください。
※お預かりする個人情報、本イベント以外の目的で使用いたしません。
- ②当日は、「YouTube」での配信となります。お申込みいただいた方の連絡先メールアドレスに、当日の視聴URLをご連絡します。